

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、令和2年3月末現在で94.9%（総人口5,102千人に対して給水人口4,840千人）となっており、未給水人口は262千人となっています。

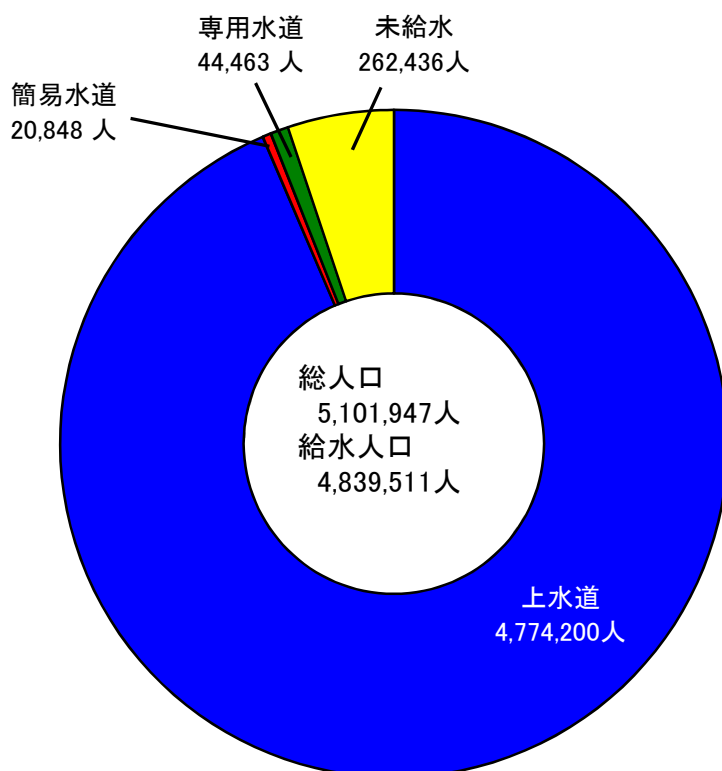
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と北九州地区が96.5%と最も高く、次いで筑豊地区が96.2%、筑後地区が87.0%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,774千人（98.7%）と大部分を占めており、次いで専用水道が44千人（0.9%）、簡易水道が21千人（0.4%）となっています。

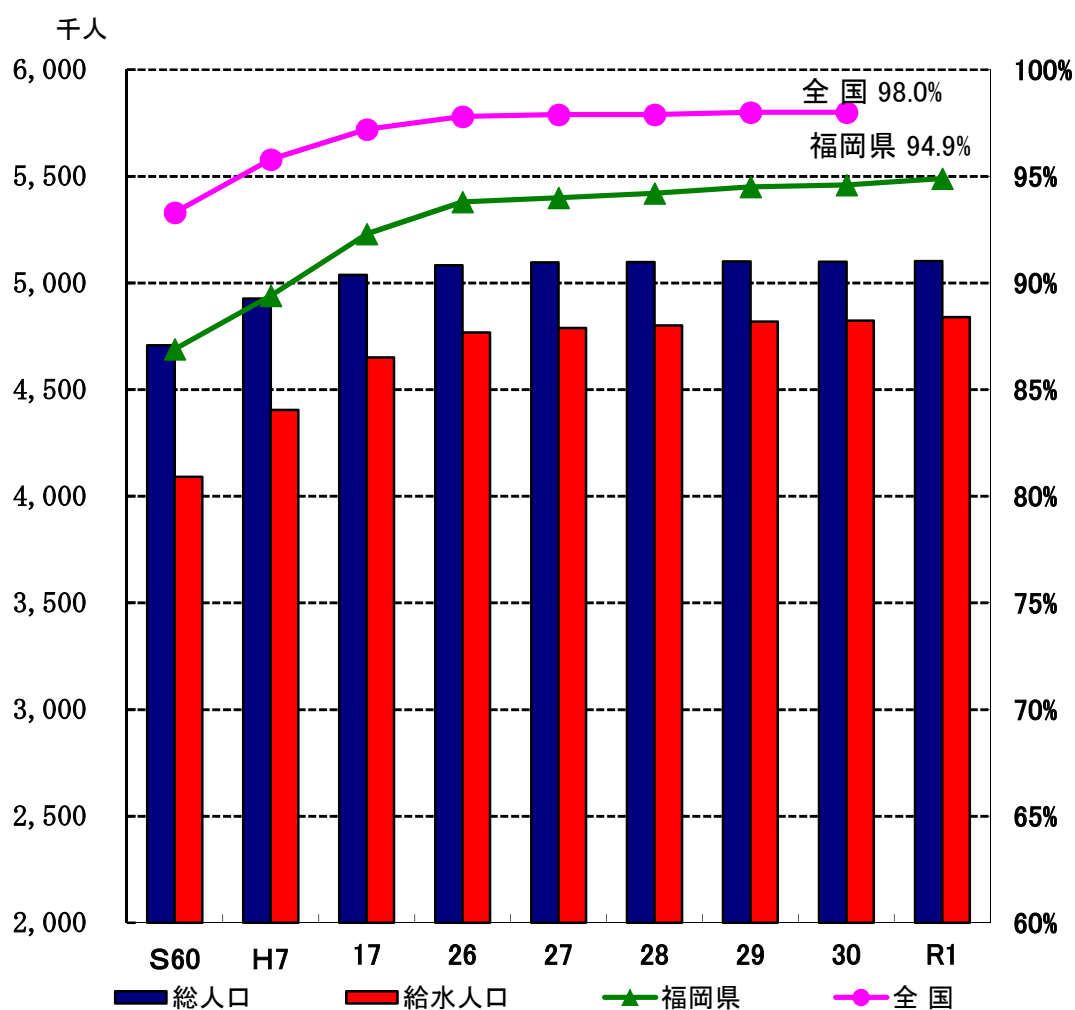
◎ 現在給水人口と普及率（令和2年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口(人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,586,285	2,495,467	2,476,566	1,383	17,518	96.5%
北九州	1,246,843	1,203,160	1,194,659	5,414	3,087	96.5%
筑後	871,354	758,506	731,089	8,157	19,260	87.0%
筑豊	397,465	382,378	371,886	5,894	4,598	96.2%
県計	5,101,947	4,839,511	4,774,200	20,848	44,463	94.9%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	26	27	28	29	30	R1	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,082	5,096	5,098	5,100	5,099	5,102	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,767	4,789	4,801	4,818	4,823	4,840	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	93.8%	94%	94.2%	94.5%	94.6%	94.9%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.8%	97.9%	97.9%	98.0%	98.0%	未公表

※ 本資料作成時点で、全国の令和元年度値は未公表

2 給水の状況

(1) 年間給水量

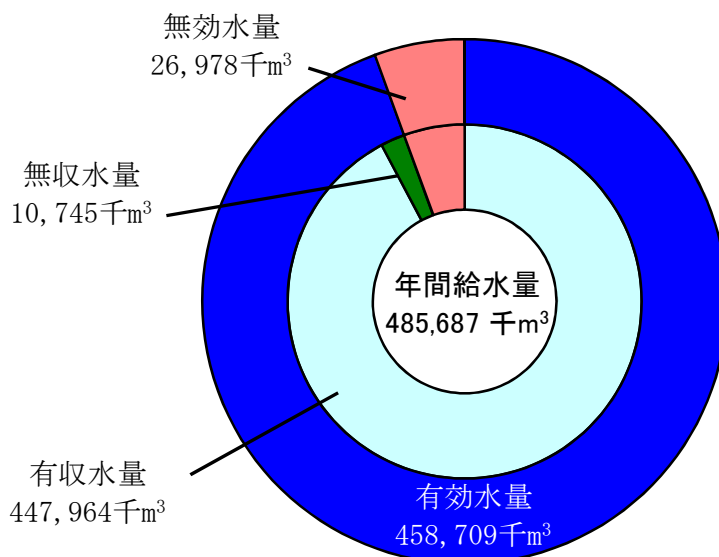
令和元年度の年間給水量は 485,687 千 m³ となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.5%)。なお、年間給水量は前年度から 3,115 千 m³ 減少しています。

また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 94.4%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	230,491	225,461	222,044	3,417	5,030	97.8%	96.3%
	北九州	133,371	122,809	119,602	3,207	10,562	92.1%	89.7%
	筑後	73,299	68,561	66,088	2,473	4,738	93.5%	90.2%
	筑豊	46,099	40,066	38,462	1,604	6,033	86.9%	83.4%
	計	483,260	456,897	446,196	10,701	26,363	94.5%	92.3%
簡易水道	福岡	125	122	121	1	3	97.6%	96.8%
	北九州	363	348	344	4	15	95.9%	94.8%
	筑後	1,048	798	768	30	250	76.1%	73.3%
	筑豊	892	543	534	9	348	60.9%	59.9%
	計	2,427	1,812	1,768	44	615	74.7%	72.8%
合計		485,687	458,709	447,964	10,745	26,978	94.4%	92.2%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量(有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量(有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量(配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 359,846 千 m³、業務・営業用が 75,747 千 m³、工場用が 8,789 千 m³、その他が 3,018 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	180,717	40,083	647	597	222,044
北九州	94,305	19,735	4,006	1,556	119,602
筑後	53,713	9,808	1,813	754	66,088
筑豊	30,612	5,505	2,293	52	38,462
計	359,347	75,131	8,759	2,959	446,196
構成比率	80.5%	16.8%	2.0%	0.7%	100.0%

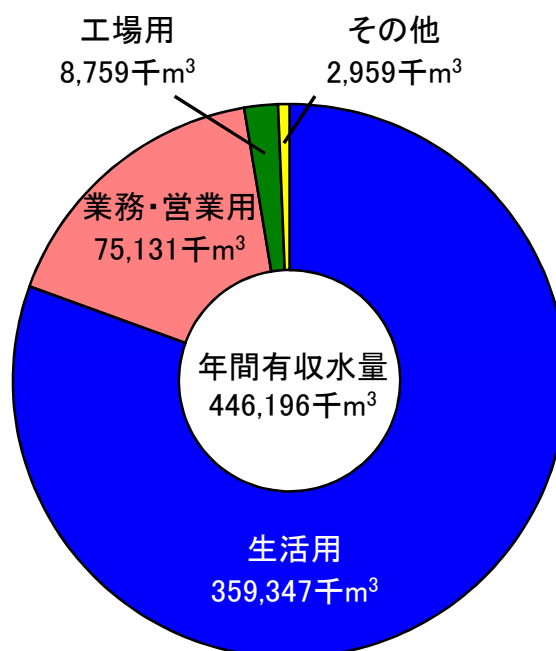
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用、船舶用、共用栓等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

令和元年度における一日平均給水量は 1,327 千 m³、一日最大給水量は 1,479 千 m³ となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 277 リットル、最大給水量が 308 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (リットル)	日最大 (m ³)	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	629,757	254	688,749	278
	簡易水道	390	282	630	456
	計	630,147	254	689,379	278
北九州	上水道	364,402	305	401,858	336
	簡易水道	979	181	1,413	261
	計	365,381	304	403,271	336
筑後	上水道	200,270	274	229,787	314
	簡易水道	2,897	355	3,480	427
	計	203,167	275	233,267	316
筑豊	上水道	125,954	339	150,051	403
	簡易水道	2,412	409	3,029	514
	計	128,366	340	153,080	405
県計	上水道	1,320,383	277	1,470,445	308
	簡易水道	6,678	320	8,552	410
	計	1,327,060	277	1,478,997	308
全国	上水道	-	331	-	375

※県計の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない

○ 平均給水量

- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 366日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

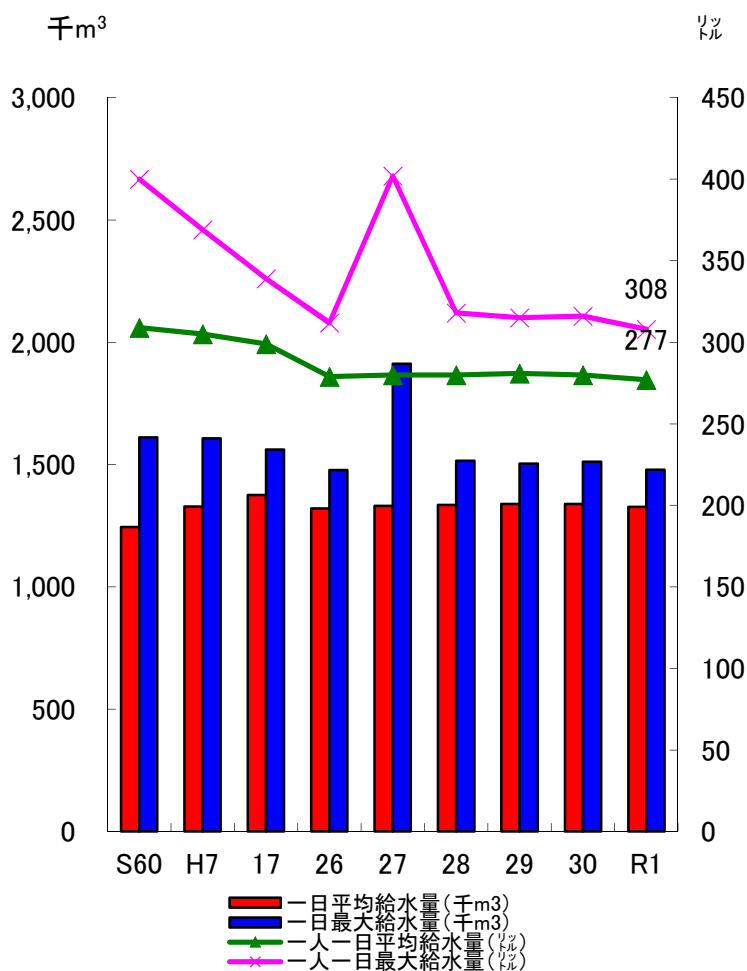
○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 30 年度末の値(本資料作成時点で令和元年度値は未公表)

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



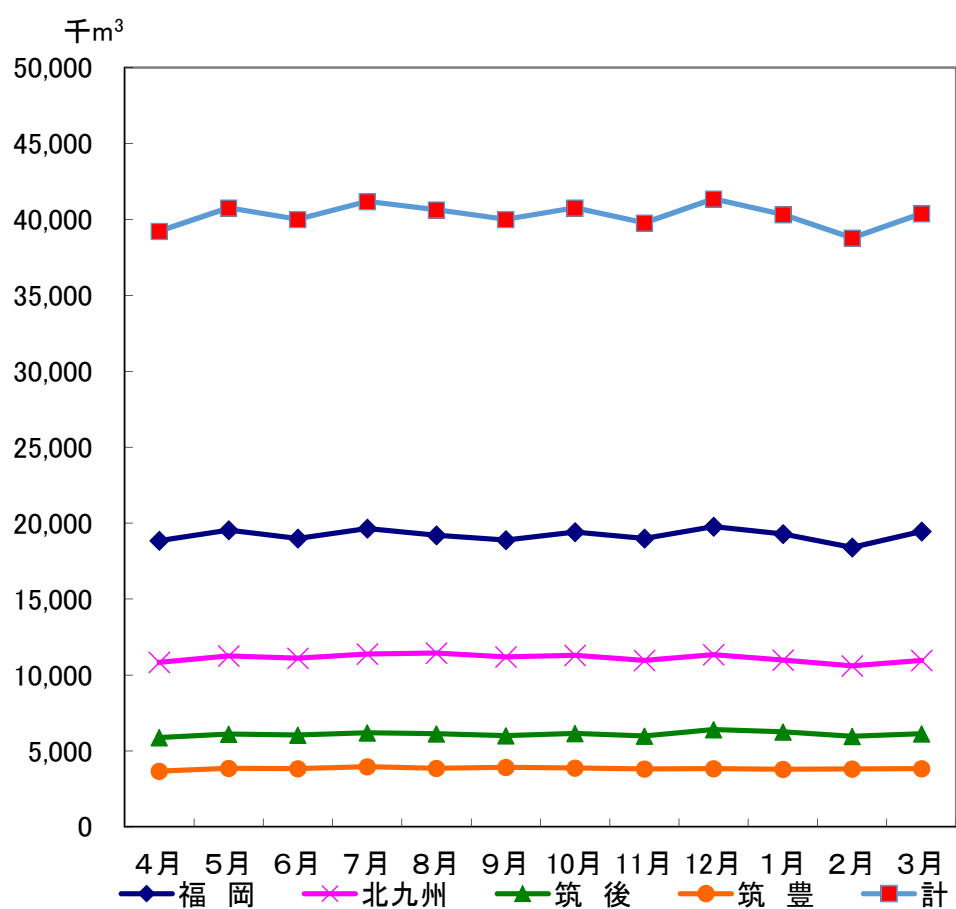
区分 \ 年度	S60	H7	17	26	27	28	29	30	R1
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,321	1,331	1,335	1,339	1,339	1,327
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,477	1,912	1,516	1,504	1,512	1,479
一人一日平均給水量(リットル)	309	305	299	279	280	280	281	280	277
一人一日最大給水量(リットル)	400	369	339	312	402	318	315	316	308

(4) 月別給水量

令和元年度の上水道事業における月別給水量の最大値は12月の41,371千 m^3 であり、最小値は2月の38,788千 m^3 となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は12月の19,784千 m^3 、最小値は2月の18,412千 m^3 、北九州地区の最大値は8月の11,439千 m^3 、最小値は2月の10,605千 m^3 、筑後地区の最大値は12月の6,407千 m^3 、最小値は4月の5,882千 m^3 、筑豊地区の最大値は7月の3,967千 m^3 、最小値は4月の3,669千 m^3 となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



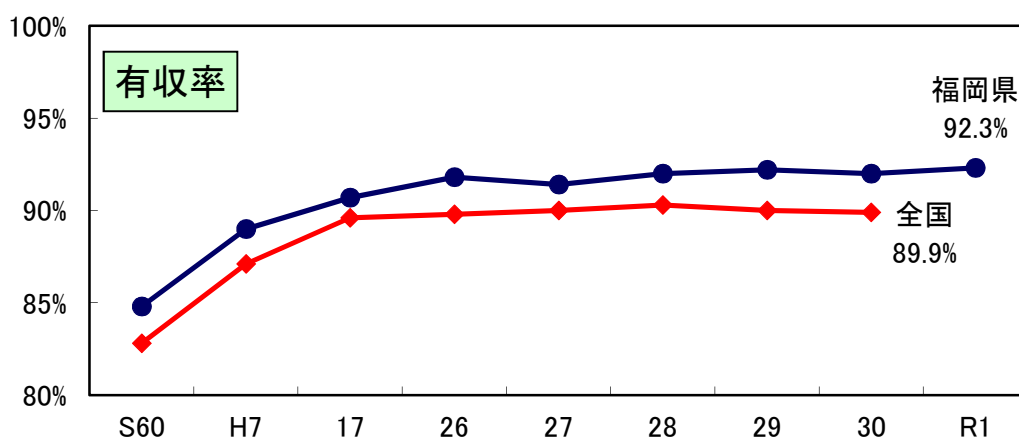
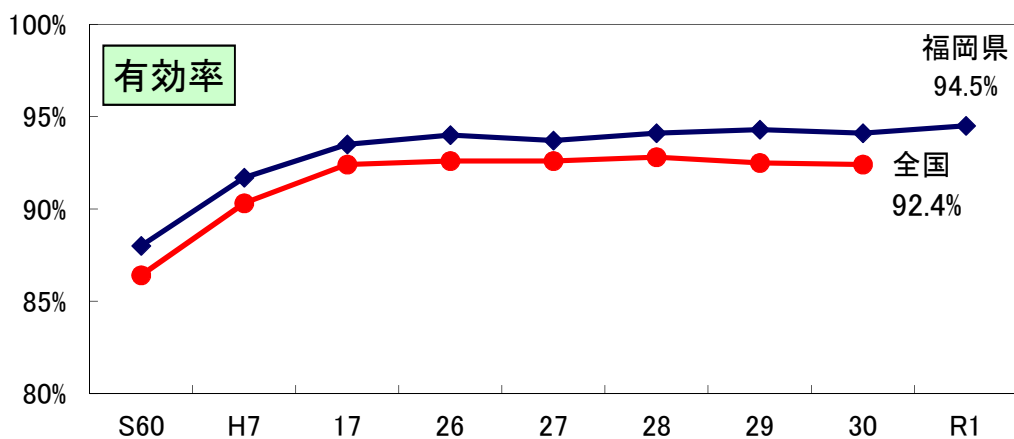
(単位: 千 m^3)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,843	19,540	19,004	19,641	19,210	18,894	19,425	18,995	19,784	19,285	18,412	19,458	230,491
北九州	10,842	11,249	11,110	11,392	11,439	11,195	11,302	10,958	11,345	10,973	10,605	10,961	133,371
筑後	5,882	6,123	6,058	6,191	6,139	5,998	6,152	5,991	6,407	6,266	5,962	6,130	73,299
筑豊	3,669	3,850	3,838	3,967	3,861	3,919	3,889	3,825	3,835	3,796	3,809	3,841	46,099
計	39,236	40,762	40,010	41,191	40,649	40,006	40,768	39,769	41,371	40,320	38,788	40,390	483,260

(5) 有効率、有収率

上水道事業における令和元年度の有効率は94.5%、有収率は92.3%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	26	27	28	29	30	R1
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	94.0%	93.7%	94.1%	94.3%	94.1%	94.5%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.6%	92.6%	92.8%	92.5%	92.4%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.8%	91.4%	92.0%	92.2%	92.0%	92.3%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	89.8%	90.0%	90.3%	90.0%	89.9%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

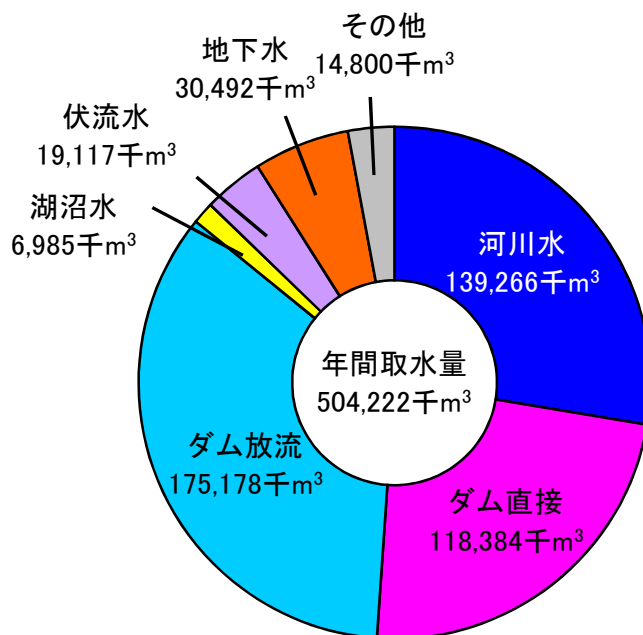
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の令和元年度値は未公表

3 取水の状況

令和元年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて504,222千m³で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(87.2%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千m³)

年度	S60	H7	17	26	27	28	29	30	R1
河川水	116,791	163,039	129,617	113,648	111,554	122,196	137,947	129,956	139,266
ダム直接	131,761	113,409	109,365	128,638	137,185	132,087	108,950	116,547	118,384
ダム放流	134,891	120,667	165,716	166,278	172,500	168,761	177,066	185,484	175,178
湖沼水	5,537	7,981	9,327	6,459	6,599	6,426	6,798	7,377	6,985
伏流水	22,736	24,389	31,518	21,033	15,968	17,266	19,356	18,743	19,117
地下水	47,998	56,701	49,135	38,963	35,865	32,782	33,887	32,091	30,492
その他	1,003	1,429	24,138	21,723	15,476	14,888	15,551	13,295	14,800
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(20,905)	(14,809)	(14,281)	(14,984)	(12,728)	(14,185)
計	460,717	487,615	518,816	496,742	495,147	494,406	499,555	503,493	504,222

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

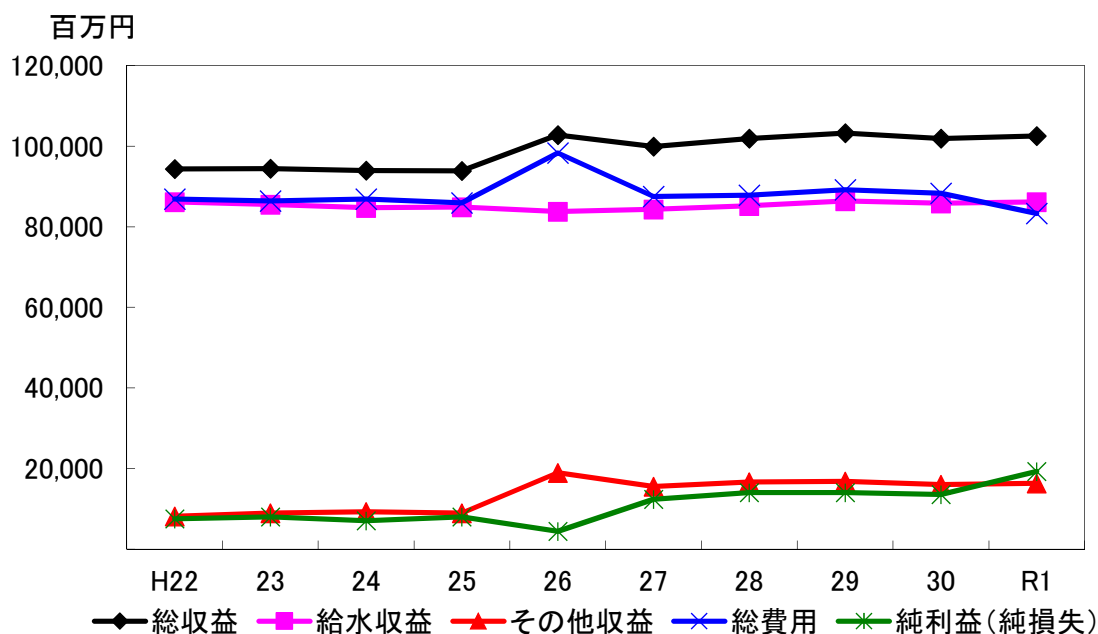
令和元年度における上水道事業の総収益は 1,025 億円となっており、前年度から7億円増加しています。また、総費用は 833 億円となっており、前年度から 51 億円減少しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 192 億円となっており、前年度から 57 億円増加しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H22	94,376	86,197	86,889	7,488
23	94,416	85,492	86,423	7,993
24	93,967	84,699	86,908	7,060
25	93,840	84,874	85,887	7,953
26	102,737	83,752	98,337	4,400
27	99,874	84,341	87,490	12,384
28	101,890	85,209	87,866	14,024
29	103,221	86,379	89,173	14,048
30	101,855	85,859	88,330	13,524
R1	102,511	86,152	83,266	19,244



(2) 費用構成

令和元年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

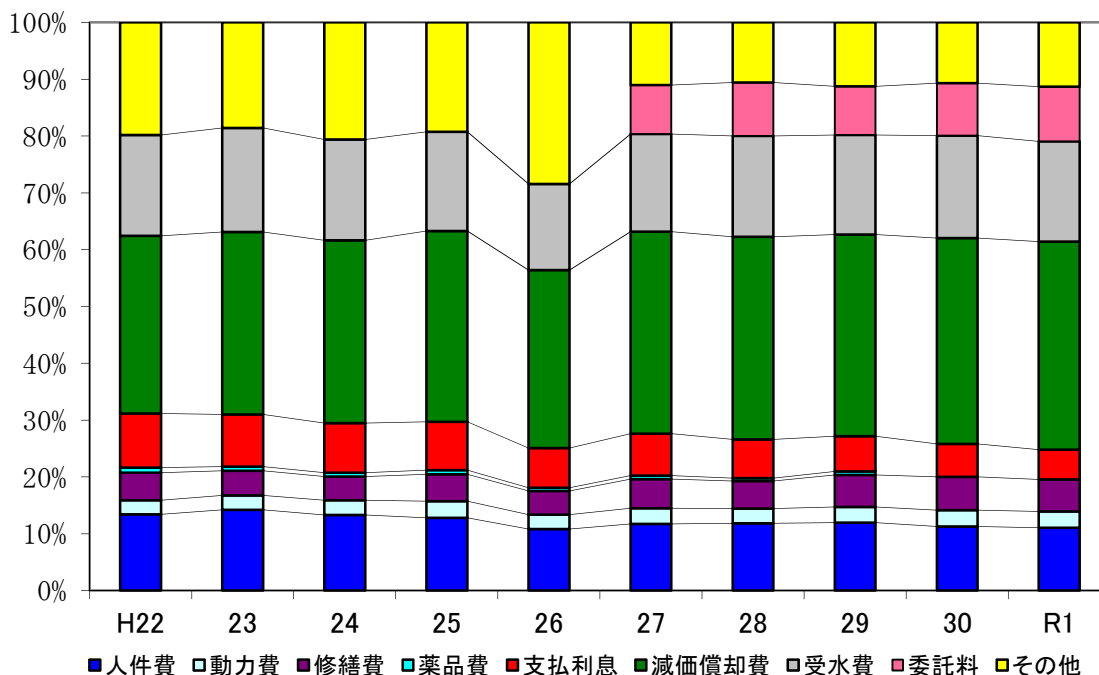
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
人件費	11,584 (13.4%)	12,163 (14.2%)	11,587 (13.3%)	10,919 (12.8%)	10,572 (10.8%)	10,162 (11.7%)	10,349 (11.9%)	10,581 (12.0%)	9,817 (11.2%)	9,853 (11.0%)
動力費	2,128 (2.5%)	2,152 (2.5%)	2,248 (2.6%)	2,457 (2.9%)	2,516 (2.6%)	2,373 (2.7%)	2,226 (2.6%)	2,451 (2.8%)	2,493 (2.8%)	2,524 (2.8%)
修繕費	4,173 (4.8%)	3,729 (4.4%)	3,594 (4.1%)	4,047 (4.8%)	4,029 (4.1%)	4,460 (5.2%)	4,223 (4.8%)	4,968 (5.6%)	5,088 (5.8%)	5,015 (5.6%)
薬品費	823 (1.0%)	653 (0.8%)	628 (0.7%)	640 (0.8%)	565 (0.6%)	507 (0.6%)	477 (0.5%)	542 (0.6%)	589 (0.7%)	721 (0.8%)
支払利息	8,201 (9.5%)	7,855 (9.2%)	7,551 (8.7%)	7,219 (8.5%)	6,832 (7.0%)	6,423 (7.4%)	5,950 (6.8%)	5,481 (6.2%)	5,040 (5.8%)	4,677 (5.2%)
減価償却費	26,947 (31.2%)	27,436 (32.1%)	27,974 (32.2%)	28,589 (33.6%)	30,585 (31.3%)	30,728 (35.5%)	31,075 (35.6%)	31,360 (35.5%)	31,503 (36.0%)	32,598 (36.3%)
受水費	15,330 (17.8%)	15,679 (18.3%)	15,404 (17.7%)	14,841 (17.4%)	14,846 (15.2%)	14,880 (17.2%)	15,457 (17.7%)	15,477 (17.5%)	15,640 (17.9%)	15,686 (17.5%)
委託料						7,462 (8.6%)	8,196 (9.4%)	7,577 (8.6%)	8,049 (9.2%)	8,546 (9.5%)
その他	17,114 (19.8%)	15,910 (18.6%)	17,911 (20.6%)	16,389 (19.3%)	27,773 (28.4%)	9,557 (11.0%)	9,245 (10.6%)	9,974 (11.3%)	9,289 (10.6%)	10,078 (11.2%)
計	86,300 (100.0%)	85,577 (100.0%)	86,896 (100.0%)	85,101 (100.0%)	97,718 (100.0%)	86,552 (100.0%)	87,199 (100.0%)	88,410 (100.0%)	87,508 (100.0%)	89,698 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

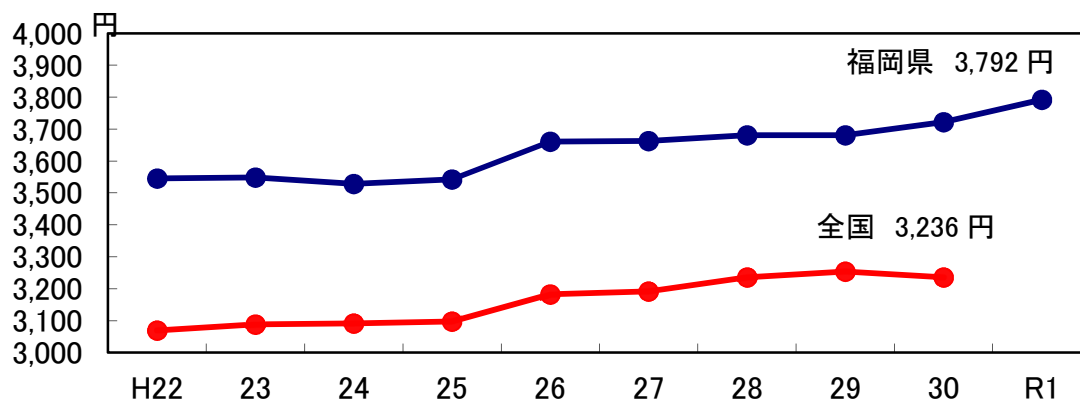
令和2年3月末現在における家庭用1ヶ月20 m³の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,792円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20 m³当たりの水道料金（上水道）

（令和2年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	3
2,500円以上～3,000円未満	5
3,000円以上～3,500円未満	5
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	13
4,500円以上	6

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20 m³当たり）



（単位：円）

年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
福岡県	3,546	3,549	3,529	3,543	3,661	3,663	3,681	3,681	3,722	3,792
全国平均	3,069	3,089	3,092	3,098	3,183	3,192	3,236	3,254	3,236	未公表

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

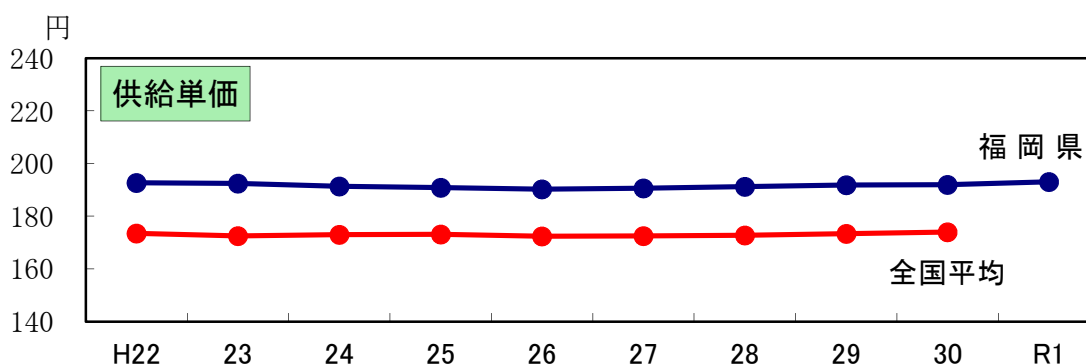
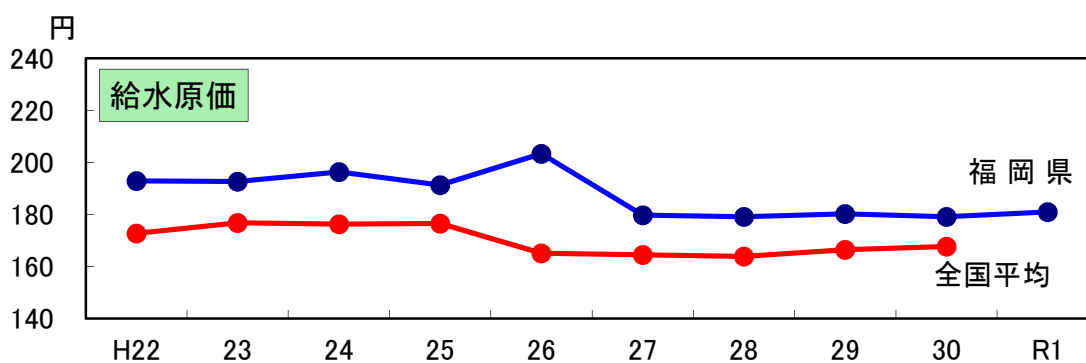
※ 本資料作成時点で、全国の令和元年度値は未公表

6 給水原価と供給単価（上水道）

令和元年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 180.90 円/m³ 及び 193.08 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
給水原価	福岡県	192.86	192.62	196.36	191.35	203.39	179.74	179.17	180.20	179.06	180.90
	全国平均	172.65	176.78	176.26	176.51	165.13	164.40	163.85	166.41	167.70	未公表
供給単価	福岡県	192.64	192.43	191.39	190.84	190.32	190.64	191.25	191.83	191.94	193.08
	全国平均	173.46	172.47	172.95	173.12	172.34	172.47	172.80	173.33	173.99	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の令和元年度値は未公表